

# シラバス確認

シラバス入力 > シラバス確認

印刷する

更新

講義名	データサイエンス入門		
(副題)			
開講責任部署			
講義開講時期	後期	講義区分	
基準単位数	2	時間	0.00
代表曜日	月曜日	代表時限	1時限
校地			
科目No	BDB105		
科目分類・分野名	データサイエンス基礎		
対象学科・年次	1年次		
実務家教員科目			

担当教員		
職種	氏名	所属
准教授	◎ 大須賀 元彦	経営学部経営学科

目的	この授業は基礎的なデータサイエンスを体系的に学修していきます。そのために、Society 5.0や近年のデータサイエンスの動向を理解すると共に、データの利活用に必要不可欠な知識を順序立てて学修することで、データサイエンスのための基礎的なデータ分析能力及びデータ活用能力の修得を目指します。この授業で扱うデータは協定に基づき中津川市役所から提供された実際のデータ（生データ）です。これらのデータを分析し、その結果から中津川市が抱える課題に対して解決策等を検討できるようになることも授業の目的としています。
概要	「AI戦略2022」で言及されているようにデータサイエンスは近年、文系理系を問わず大学生が学修すべき内容と言われています。その背景にはSociety 5.0が示すようにAIの技術等を活用した社会が今後さらに発展していくという考えがあるためです。また企業等も大量のデータを正しく分析できる人財であるデータサイエンティストを求めています。このような社会的な変化に対応していくために、この授業ではデータサイエンスを学ぶ過程で基礎的なデータ分析力及びデータ活用能力を身につけます。  この授業では中津川市役所との協定に基づき提供された生データを活用しながら統計学を基盤としたデータ分析も学修していきます。最終的にデータの活用能力及び課題解決能力の獲得を同時に目指していきます。  この科目は必修科目でもありますが、文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」の科目です。この授業の重要性を理解した上で受講してください。
テキスト	特に使用しない。
参考書	授業中に適時紹介する。
履修に必要な予備知識や技能	特になし。

学生が達成すべき行動目標	
	内容
①	データサイエンスの基礎知識を適切に理解し説明できる（DP F-2に該当）。
②	実データを分析し、その結果を適切に解釈できる（DP F-2に該当）。
③	分析結果から対応策などを検討することができる（DP F-2に該当）。
④	ICTツールを活用して課題の提出やレポートの作成ができる（DP B-1に該当）。
⑤	
⑥	

達成度評価

	試験	小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合		45	55					100
問題発見力・課題解決力		15						15
実践力								
コミュニケーション力								
地域社会に貢献する力								
専門的知識・技術力A								
専門的知識・技術力B		30	55					85
専門的知識・技術力C								
専門的知識・技術力D								
専門的知識・技術力E								
専門的知識・技術力F								

評価の要点

	①	②	③	④	⑤	⑥	内容
試験							
小テスト	✓	✓	✓	✓			原則毎回、その回の授業内容に関する小テストを実施します。フィードバックは次回の授業等で行います。
レポート	✓	✓	✓	✓			レポートの作成を通してこの授業で学んだことを評価します。フィードバックは授業中もしくは授業後に行います。
成果発表（口頭・実技）							
作品							
ポートフォリオ							
その他							

授業計画表

回	年月日(曜日)	時限	担当教員	学習内容	授業の運営方法	事前学習：内容/時間(分)	事後学習：内容/時間(分)	教室
第1回	令和 7年09月29日(月)	1時限	大須賀元彦	【ガイダンス】 【Society 5.0】【データサイエンス】ガイダンスを行った後、Society 5.0とデータサイエンスの定義等を解説します。	講義	シラバスを熟読し、受講方法について理解すること。Society5.0及びデータサイエンスとは何かについて文献等を使って調べ、ノートにまとめる(120分)。	授業資料を使って、Society5.0及びデータサイエンスとは何かを復習し、ノートを整理する(120分)。	第1コン 第2コン
第2回	令和 7年10月06日(月)	1時限	大須賀元彦	【社会調査と統計資料】 【データの種類の活用】 社会調査について学修し、各種統計	講義・演習	社会調査とは何かや、AIを活用したビジネスの現場を含むデータの種類の活用について文献等を使って調べ、ノートにまとめる(120分)。	授業資料を使って、社会調査とは何かや、AIを活用したビジネスの現場を含むデータの種類の活用について復習し、ノートを整理する(120分)。	第1コン 第2コン

				資料を取り上げます。またデータの種類や、AIを活用したビジネスの現場ではどのようにデータが扱われているのかを説明します。				
第3回	令和 7年10月13日(月)	1時限	大須賀元彦	【データリテラシー】AIの活用時も含めてデータを取り扱う際に注意しなければならない著作権や倫理的視点及びセキュリティー等を解説します。	講義・演習	データの取り扱いに関する著作権について文献等を使って調べ、ノートにまとめる(120分)。	授業資料を使って、データの取り扱いに関する著作権等を復習し、ノートを整理する(120分)。	第1コン 第2コン
第4回	令和 7年10月20日(月)	1時限	大須賀元彦	【データベース】 【アルゴリズム】 【プログラミング】 リレーショナルデータベースの仕組みを解説します。またアルゴリズムとは何かを説明した後、プログラミングの活用方法等について説明します。	講義・演習	データベースの仕組みやアルゴリズムとプログラミングについて文献等を使って調べ、ノートにまとめる(120分)。	授業資料を使って、データベース、アルゴリズム、プログラミングとは何かを復習し、ノートを整理する(120分)。	第1コン 第2コン
第5回	令和 7年10月27日(月)	1時限	大須賀元彦	【AIの活用領域とそのため技術】 【統計学基礎：母集団と標本】 身近なAIの活用現状とそのため技術について学びます。また母集団と標本について説明していきます。	講義・演習	AIの活用領域とそのため技術、母集団と標本について文献等を使って調べ、ノートにまとめる(120分)。	授業資料を使いAIの活用領域とそのため技術、母集団と標本について復習し、ノートを整理する(120分)。	第1コン 第2コン
第6回	令和 7年11月03日(月)	1時限	大須賀元彦	【統計学基礎：中心とバラツキの特	講義・演習	中心とバラツキの特性値について文献等を使って調べ、ノートにまとめる(120分)。	授業資料を使って、中心とバラツキの特性値とは何かを復習し、ノートを整理する(120分)。	第1コン 第2コン

				性値と確率】中心とバラつきの特性値等を解説します。確率分布や仮説検定及び推定の基本となる確率について学修していきます。				
第7回	令和 7年11月10日(月)	1時限	大須賀元彦	【統計学基礎：データの集計とクロス集計】 【データ解析ツール】データの集計やクロス集計について解説します。また一般的に活用されるデータ解析ツールについても取り上げます。	講義・演習	授業資料を使ってクロス集計とは何かを復習し、ノートを整理する(120分)。	授業資料を使ってクロス集計とは何かを復習し、ノートを整理する(120分)。	第1コン 第2コン
第8回	令和 7年11月17日(月)	1時限	大須賀元彦	【統計学基礎：ヒストグラム・散布図】データの可視化の手法であるヒストグラム及び散布図について説明します。	講義・演習	ヒストグラム及び散布図について文献等を使って調べ、ノードにまとめる(120分)。	授業資料を使って、ヒストグラム及び散布図を復習し、ノートを整理する(120分)。	第1コン 第2コン
第9回	令和 7年11月24日(月)	1時限	大須賀元彦	【統計学基礎：相関分析】データを分析する際に活用される相関分析について説明します。	講義・演習	相関分析について文献等を使って調べ、ノードにまとめる(120分)。	授業資料を使って、相関分析とは何かを復習し、ノートを整理する(120分)。	第1コン 第2コン
第10回	令和 7年12月01日(月)	1時限	大須賀元彦	【統計学基礎：回帰分析】データを分析する際に活用される回帰分析について説明します。	講義・演習	回帰分析について文献等を使って調べ、ノードにまとめる(120分)。	授業資料を使って、回帰分析とは何かを復習し、ノートを整理する(120分)。	第1コン 第2コン
第11回	令和 7年12月08日(月)	1時限	大須賀元彦	【統計学基礎：母集団の推定】【協定に基づく実データの活用】標本	講義・演習	母集団の推定についての方法と実データを扱う際の注意点などを文献を使って調べ、ノート等にまとめる(120分)。	授業資料を振り返り、母集団の推定と実データの取り扱いの注意点を理解する(120分)。	第1コン 第2コン

				から母集団を予測する方法を説明します。協定に基づく実データの内容を確認し、どのように分析すべきかや、分析上の注意点等を説明します。				
第12回	令和 7年12月15日(月)	1時限	大須賀元彦	【協定に基づく実データの分析①】ここまで学修してきた内容（特性値の算出、データの可視化等）を活用し、協定に基づく実データから課題の抽出等を行います	講義・演習	ここまでの授業資料を振り返り、どのような分析ができるのかを検討してくる(120分)。	次回の授業時に課題の抽出が明確化できるように分析を終わらせる(120分)。	第1コン 第2コン
第13回	令和 7年12月22日(月)	1時限	大須賀元彦	【協定に基づく実データの分析②】前回に引き続き、これまでの学修内容(相関分析、回帰分析、推定等)を活用し、課題の抽出を行い、どのような解決策があるのかを検討し、議論します。	講義・ディスカッション	ここまでの分析結果からどのような課題が抽出されたのかをノート等にまとめてくる(120分)。	授業中のディスカッションを踏まえ、改善策等を検討する(120分)。	第1コン 第2コン
第14回	令和 8年01月19日(月)	1時限	大須賀元彦	【協定に基づく実データの分析③】前回の講義で検討した改善策等をレポートにまとめていきます。	講義・演習	前回に引き続き分析結果をまとめながら、改善策等が含まれているレポートの完成を目指す(120分)。	授業資料を参考にしながら足りない分析がないかを確認し、レポートの見直しを行う(120分)。	第1コン 第2コン
第15回	令和 8年01月26日(月)	1時限	大須賀元彦	【データサイエンスの応用】【まとめ】データサイエンスの応用分野の紹介と授業全体	講義	これまでのノートやレポートを振り返り、学修内容を再確認する(120分)。	レポートの完成に向けて資料及びノートを振り返る(120分)。	第1コン 第2コン

				のまとめ を行います。 す。				
オフィスアワー(授業相談)		初回授業時に説明します（事前にTeams等でアポイントメントをとってください）。						

[ページの先頭へ](#)

[閉じる](#)

## シラバス確認

シラバス入力 &gt; シラバス確認

印刷する

更新

講義名	情報処理と管理		
(副題)			
開講責任部署			
講義開講時期	後期	講義区分	
基準単位数	2	時間	0.00
代表曜日		代表時限	
校地			
科目No	NLI106		
科目分類・分野名	基礎教育科目・言葉と情報		
対象学科・年次	看護学科・1年後期		
実務家教員科目			

担当教員		
職種	氏名	所属
非常勤講師	◎ 嶋田 誠	看護学部看護学科

目的	<p>この科目で学生は、一人の医療人として患者・家族および医療関係者との間で、正確かつ安全に情報をやり取りするための、技能、知識、見識を身につけます。</p> <p>この科目で学生が学修することは、以下3点に集約されます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・医療系社会人として必要な知識と態度</li><li>・パーソナル・コンピュータ（PC）の使い方や学び方（コンピュータ・リテラシー）</li><li>・情報通信技術（ICT）の有効かつ安全な利活用の方法および可能性</li></ul>
概要	<p>上にあげた目的達成のため、実際に体験しながら学びます。</p> <p>この科目は、基礎教育科目の「言語と情報」に位置付けられます。同時に、文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）」認定の教育プログラムです。</p> <p>絶えず新しくなる技術を扱いますので、暗記よりも永続的に必要な、情報に対する態度や変化への対応力の習得を意識して履修してください。</p> <p>また、情報の処理は個人的な作業ですが、その目的は情報を他の人に届けることです。「各人の地力とチームプレイ」が身につくよう、学生同士活発に互いに教えあってください。</p> <p>ただし、教えあうのは、答えではなく、課題解決までの考え方や情報の探し方です。学生といえども、各自のアイデアや成果・作品には権利と責任があることを意識しつつ、他者の成果と区別して、各自の名による提出・開示の規則にのっとり、毎回の課題を提出してもらいます。この点は、高等教育機関である大学では初等教育とは違う点であり、正確に理解して習慣づけてください。</p> <p>その理解の上で、授業の中では普段あまり話さないクラスメイトにも声をかけ、相手の受け止めを確認しつつ、時には一緒に悩むことで、全体のレベルアップを図ります。このようなアクティブ・ラーニングは、授業の進捗とクラスの雰囲気によって計画実施成否が決まります。雰囲気を壊すような態度は個人的な問題にとどまらず他の学生の学修効果に悪影響を及ぼしますので、学生諸君の協力、積極的なクラスへの貢献、を期待します。</p> <p>ここで学んだことは大学のほとんどの科目の基礎となります。その中でも、特に、「統計分析法」、「疫学」、「看護情報学」、「保健統計学」、に関連が深く、その他各種ゼミを履修するための必須知識になります。</p>
テキスト	指定なし。毎回、授業用スライドおよびその他資料をTeams（一般>ファイル）を通じて配布。各自、必要に応じてダウンロードや印刷が可能。
参考書	(もしあれば)高校までの教科「情報科」に関連する教科書や資料集など。

履修に必要な予備知識や技能	<p>高校までに履修した「情報科」科目の履修内容を整理してあると助けになります。自分が使用するパソコンの起動や終了の知識、キーボードとマウスを使った操作は予め必要です。パソコン未経験者は各自初心者向けのwebサイトや書籍を読んでおくといでしょう。</p> <p>その他、必要なものとして、大学より各学生に渡されたユーザIDやパスワード。</p> <p>この科目はWindowsパソコンの使用を前提にしています。課題実施のためには、インターネットにアクセスでき、マウス、キーボードが接続されたコンピュータが必要です。帰宅後に使えるパソコン等がない場合は、空き時間にPC教室を使うことができます。</p> <p>参考：【入学予定者用案内】 「パソコンのご購入についてのご案内」  <a href="https://www.chukyogakuin-u.ac.jp/topics/30_602b20d1270df/index.html">https://www.chukyogakuin-u.ac.jp/topics/30_602b20d1270df/index.html</a></p> <p>A4版配布物や授業中に書き取ったノートを綴じるためのホルダーやバインダー等を用意しておくこと。</p>
---------------	--

学生が達成すべき行動目標

	内容
①	情報の受け取りと発信における、医療系社会人に求められる態度を説明できる。
②	ネットワークの仕組みとその影響力や危険性を説明できる。
③	キーボードを見ずに入力(タッチタイピング)できる。
④	オフィス系ソフトウェアの使用法等、自分で調べて知識・技能を増やすことができる。
⑤	代表的な電子ファイルの拡張子を分類でき、テキストデータ保存形式へ変換できる。
⑥	新聞等で一般社会に浸透している情報学用語を説明することができる。

達成度評価

	試験	小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポート フォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	15	3	79	0	0	3	100
問題発見力・課題解決力	0	3	1	5	0	0	1	10
実践力	0	3	1	26	0	0	0	30
コミュニケーション力	0	3	1	21	0	0	1	26
地域社会に貢献する力	0	3	0	10	0	0	1	14
専門的知識・技術力A	0	3	0	17	0	0	0	20
専門的知識・技術力B								
専門的知識・技術力C								
専門的知識・技術力D								
専門的知識・技術力E								
専門的知識・技術力F								

評価の要点

	①	②	③	④	⑤	⑥	内容
試験							
小テスト	✓	✓	✓	✓	✓	✓	予習の段階で質問に答えることによって、予習した内容がどの程度理解できているか、次の授業で何を明らかにすべきか、あるいは、覚えておくべきこと、身に付けておくべきことがはっきりします。 フィードバックは、授業内での解説と質疑応答を通じてなされます。
レポート	✓	✓	✓	✓	✓	✓	MP (Minutes Paper) と呼ばれるものに相当。毎回の授業の振り返りと作文練習の目的の他に、ストレスなく授業を進めるため、皆さんと担当講師とのコミュニケーションの目的でやり取りするものです。毎回の授業後すぐ、記憶の鮮明なうちに、提出してもらいます。内容ではなく、提出件数が成績評価の対象です。
成果発表 (口頭・実技)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	授業内や復習で「課題」として提出するものに相当。試験同等の評価対象のため、他の学生の提出物や文献、生成AIのコピーは不正行為とみなされますので注意してください。提出物は、締め切り後であっても、何度でも修正して再提出することで、評価点が上がりません。学期末に提出できていない提出物には点数が付きません。

										フィードバックは、おもに課題返却時のコメントを通じてなされます。
作品										
ポートフォリオ										
その他	✓	✓	✓	✓	✓	✓				履修期間途中随時、および期末時、「到達目標」にてらして、現在の各自の理解状況を記録して提出してもらいます。 また、友人どおし教えあうことで、教えてくれた友人にも評価点が付くよう、「アシスト記録」を積極的に提出することを勧めます。 基礎点とは別に、MP内コメント、アシスト記録、および講義・演習中における建設的な質問や発言等、に対する評価として(あらかじめ配点していない)ボーナス点の加算がありません。

### 授業計画表

「情報処理と管理」 syllabus詳細版は第1回講義にて配布予定。予定の変更はTeams参照。

回	担当教員	学習内容	授業の運営方法	事前学習：内容/時間(分)	事後学習：内容/時間(分)	教室
第1回	嶋田 誠 目標(1) (2)	ガイダンス：目的と進め方。 AI情報化社会とチーム医療。単名提出と引用。	講義・ ペア課題	チーム医療とは何か確認しておく / 60分	在宅で使用する機器の設定を大学での設定に合わせてみる。配布シラバスと授業で示されたForms回答の見直し、必要があれば再提出する。AIによって今後変わることを見直し、答えられるようにまとめておく。 / 120分	PC教室
第2回	嶋田 誠 目標(3)	コンピュータの入力装置、日本語入力システム、タイピングの基礎、パソコンとスマートフォンの比較	講義・ 技能演習	出された課題にしたがい、キーボード操作やタッチ タイピングについて調べ、示された質問に答えて提出。疑問点があれば第2回授業日で質問できるように、各自ノート等に準備する / 90分	「日本語入力モードへの切り替え方法」、「大学のWindowsパソコンの各キーの機能」「家庭学習で使用する機種別のキー配列との違い」を覚える / 90分	PC教室
第3回	嶋田 誠 目標(3)	タッチタイピング、ショートカットキー	講義・演習	家庭使用の機種での日本語入力モードへの切り替え方法を確認しておく 課題で示されたwebサイトを通じて、予習する。 / 120分	授業で示されたタッチ タイピングwebサイトにて、指示にしたがい練習を実施する。ショート カットキー を確認して少しずつ覚える。 / 60分	PC教室
第4回	嶋田 誠 目標(5) (6)	ローカルとクラウドの区別、エクスプローラの見方、フォルダの作成と整理、フォルダの圧縮	講義・演習	出された課題に従い、エクスプローラの見方、ファイルやフォルダ等の用語を調査し、他人に教えられるように準備をする / 120分	Teamsの「OneDrive」を使って、大学の端末と同じフォルダ構成を在宅利用の端末の記憶装置内にコピーする / 90分	PC教室
第5回	嶋田 誠 目標(4)	クリップボード、コピーと貼り付け、スクリーンショット	講義・演習	出された課題に従い、コピー貼り付けについて、マウスとキーボードの2種類の方法を調査し、覚える / 90分	課題に従い、Zipファイルを作り提出する。その手順を覚える / 90分	PC教室
第6回	嶋田 誠 目標(2)	情報発信における想像力(パスワード管理)、Emailのアプリケーション・ソフト設定	講義・演習	情報発信に関して、社会人と学生の置かれた環境と責任の違いについて、課題に従い考えて提出する。 EmailのユーザIDとパスワード準備&暗記 / 90分	大学のメールソフトの設定 / 90分	PC教室
第7回	嶋田 誠 目標(2) (6)	社会人の電子メール利用法、パスワード管理	講義・演習	社会人の電子メールの書き方について調査し、その内容を提出する / 90分	作文したメールを推敲し、復習課題として送信・提出する / 90分	PC教室
第8回	嶋田 誠 目標(4)	契約と印鑑、PDF作	講義・演習	契約について、印鑑について、PDF、写真のファイルについて、	授業内で扱った、パソコン用語、法律用語、およびPDFの作成法を	PC教室

	(5)	成、証明・証拠とデジタル技術		web調査結果提出。 / 120分	復習 / 60分	
第9回	嶋田 誠 目標(4) (6)	表計算演習：入力モード、データの型、エクセル関数（代表値計算、統計の基礎）	講義・演習	エクセルのセルの状態についてのWebサイトを読んで、問いに答え、提出 / 90分	エクセルファイルへの数式の入力・関数の入力、データの型についての課題 / 90分	PC教室
第10回	嶋田 誠 目標(4) (5)(6)	Excelによる表作成（セルの操作）、PDFやWordでの箱型選択、置換（改行コード除去）	講義・演習	「改行コード」Web調査しForms提出する。 / 90分	授業中に作成した表に中身を記入（改行除去し、アンケート結果値を入力）して提出 / 90分	PC教室
第11回	嶋田 誠 目標(4)	Excel：複数のセルの選択、グラフ作成	講義・演習	エクセルのデータ絞り込み、並び替え、グラフ作成の方法をweb調査の上、提出 / 90分	予習で作成したエクセル・ファイルをグラフ付きで、かつ見やすいデザインに編集して提出 / 90分	PC教室
第12回	嶋田 誠 目標(5)	テキスト・ファイル、csv形式、文字コード	講義・演習	前回のファイルをcsvへ形式変換テキスト・ファイルについてweb調査 / 120分	授業で習得したテキストファイルについての知識を問う課題を提出 / 60分	PC教室
第13回	嶋田 誠 目標(4) (6)	グラフィック技術基礎、発表用取材、発表（プレゼンテーション）の良し悪し	講義・演習	課題に従いグラフィックについてweb調査課題 / 60分	著作権の問題がないイラストを収集できるサイト調査、指示された人物を調査（発表用取材） / 120分	PC教室
第14回	嶋田 誠 目標(1) (4)	プレゼンテーション・ファイル作成法	講義・演習	指示に従いパワーポイントでのスライド作成法を調査し、授業中に作成できるように準備しておく。発表内容を固めておく。 / 90分	授業で指示された方法により、発表音声を録音し、動画ファイルとして保存し、提出しておく / 90分	PC教室
第15回	嶋田 誠 目標(1) (4)(6)	プレゼンテーション：発表評価、IT用語復習	講義・演習	良いプレゼンとは何かweb調査、これまでの課題の確認と質問準備 / 60分	学友の発表録画を視聴し見習うべき点をまとめて提出 / 120分	PC教室
オフィスアワー（授業相談）		授業前後の休み時間に行う。連絡により昼休みから対応可。Teamsのチャット機能を介した授業内容についての質問は適宜返信する。				
授業用URL		<a href="https://www.chukyogakuin-u.ac.jp/topics/30_602b20d1270df/index.html">https://www.chukyogakuin-u.ac.jp/topics/30_602b20d1270df/index.html</a>				
参考URL 1		<a href="https://onepoint.softcampus.co.jp/other_onepoint/16537/#i-8">https://onepoint.softcampus.co.jp/other_onepoint/16537/#i-8</a>				
参考URL 2		<a href="https://chiakimemoblog.com/">https://chiakimemoblog.com/</a>				
参考URL 3		<a href="https://onestop-biz.com/blog/category/pc-basic/">https://onestop-biz.com/blog/category/pc-basic/</a>				
参考URL 4		<a href="https://supvalue.net/">https://supvalue.net/</a>				
授業用E-mail		m-shimada@chukyogakuin-u.ac.jp				

# シラバス確認

[シラバス入力](#) > [シラバス確認](#)

[印刷する](#)

[更新](#)

講義名	統計分析法		
(副題)			
開講責任部署			
講義開講時期	前期	講義区分	
基準単位数	1	時間	0.00
代表曜日	木曜日	代表時限	2時限
校地			
科目No	NLI203		
科目分類・分野名	基本教育科目・言語と情報		
対象学科・年次	看護学科・2年前期		
実務家教員科目			

担当教員		
職種	氏名	所属
特任教授	◎ 村瀬 孝宏	経営学部経営学科

目的	科学的根拠に基づいた医療（EBM）を行い、自らも研究的視点を持ち実践していく医療者をめざし、データサイエンスの基礎的概念を学習します。そのために、社会とSociety5.0やAI・データサイエンスの関わりを理解するとともに、データサイエンスにとって必要不可欠な統計学を学習し、データの収集と記述、データモデルの検定及び分析を行う能力を身につけます。学んだことを実践にて再確認し、応用力を身につけるために、授業の中でこの地域の実際のデータを分析し、その結果からこの地域が抱える課題に対して解決策を提言できることを目的とします。
概要	医学・看護学・健康科学等の自然科学の諸分野において、測定値などのデータに基づく現象の探求は必要不可欠です。一方、現代の社会活動を通して生み出されるデータを活用することは一般的になっており、自然科学の諸分野においても社会との関わりの中で生み出されるデータを分析することによって新たな知見を得ることが重要になっています。本講義では、データサイエンス、データサイエンスの基本となる統計的・数理的な考え方、および、人工知能(AI)について、基礎的な講義を行います。その後、統計学について、統計資料に基づくデータ分析は現象理解のための有益な手段であることを理解し、具体的な統計資料による統計データの見方、要約方法、分析方法、活用手段など基本的な知識と技能を習得します。学んだことを実践にて再確認し、応用力を身につけるために、地域との協定に基づき提供された実データを活用しながら統計学を基盤としたデータ分析を学習します。最終的にデータの活用能力及び課題解決能力の獲得を目指します。本科目は、文部科学省の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）」の申請科目です。
テキスト	「医療・看護のためのやさしい統計学 基礎編」山田覚著 東京図書 必要に応じてプリントを配布
参考書	「看護学生・看護職が知りたい統計学」山田覚著 東京図書 「よくわかる医療・看護のための統計入門」石村貞夫・萬里小路直樹著 東京図書
履修に必要な予備知識や技能	この授業は、教科書を使用し担当教員がスクリーンに教材を映し、基本的に講義形式で行います。3回程度、講義の節目で課題を与えますので、1週間以内に提出してください（提出期限より遅れた場合は減点）。基本的に、毎週、自分で勉強しないと修得できません。自分で計算したり、集計及びグラフを作成したりすることで、知識をより身近なものにできます。高校程度の数学の基礎知識が必要ですので、復習しておくこと。
学生が達成すべき行動目標	
	内容

①	基本的なデータサイエンスの知識を理解し、説明することができる。
②	統計的な物の見方や考え方を理解する。
③	統計を用いた推計・検定処理の基礎を理解する。
④	医療分野で利用される統計分析を理解する。
⑤	具体的な統計法の利用について、データの特徴に応じて理解し活用できる。
⑥	統計を扱う上での注意や心構えを習得する。

達成度評価

	試験	小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	10	20					100
問題発見力・課題解決力	10	2	3					15
実践力	5	1	3					9
コミュニケーション力	5	1	3					9
地域社会に貢献する力	10	2	3					15
専門的知識・技術力A								
専門的知識・技術力B								
専門的知識・技術力C								
専門的知識・技術力D	20	2	4					26
専門的知識・技術力E								
専門的知識・技術力F	20	2	4					26

評価の要点

	①	②	③	④	⑤	⑥	内容
試験	✓	✓	✓	✓	✓	✓	最終試験で、統計的な分析を行うために必要とされる基礎的な知識及び検定、推定を行う能力を確認します。フィードバックは、期末の試験結果を返却時に行います。
小テスト	✓	✓	✓	✓	✓	✓	毎回の授業の終わりに、確認のためのWebによる小テストを行います。フィードバックについては、小テストはWebによるため、正解と解説が即時にわかりますので、事後学習として活用し誤った箇所は十分見直してください。
レポート	✓	✓	✓	✓	✓	✓	授業の節目で課題（合計3回分）を与えますので、すべて提出してもらいます。フィードバックについては、課題提出の翌週に提出課題を添削し返却するので、十分見直してください。
成果発表（口頭・実技）							
作品							
ポートフォリオ							
その他							

授業計画表

回	担当教員	学習内容	授業の運営方法	事前学習：内容/時間(分)	事後学習：内容/時間(分)
第1回	村瀬 孝宏	【データサイエンスの概要】 【統計学の概要】 Society5.0、データサイエンス、AI、機械学習、ビッグデータの概要について解説します。 データの活用、尺度と数	講義・演習	データサイエンス、Society5.0、AIについて、文献などで調べておくこと。 テキストpp.2-18を読了し、用紙にまとめ、講義に臨むこと。(60分)	テキストpp.2-18のポイントを整理すること。(45分) データサイエンス、Society5.0、AIについて配布したプリントを復習しておくこと。(45分)

		の性質、基礎統計について学ぶ。			
第2回	村瀬 孝 宏	【社会におけるAIの利活用】AIの種類とその特徴、医療関係におけるAI技術について 【推測統計の概要】【標本と母集団】 全数調査と標本抽出方法 平均値、分散、標準偏差、中央値等の基本統計量	講義・演習	AIが社会でどのように利用されているか、特に医療関係を中心に調べておくこと。 利用テキストpp.19-30を読了し、用紙にまとめ、講義に臨むこと。(90分)	テキストpp.19-30のポイントを整理すること。(45分) 配布したファイルによりAI関係を復習しておくこと。(45分)
第3回	村瀬 孝 宏	【データ分布と特徴】 【確率・ヒストグラム】 計量分布(連続的)と計数分布(離散的)、 正規分布と指数分布、正規分布と確率、 二項分布とポアソン分布、	講義・演習	テキストpp.31-42を読了し、用紙にまとめ、講義に臨むこと。(90分)	テキストpp.31-42のポイントを整理すること。(45分) 配布したプリントを復習しておくこと。(45分) 与えられた課題を確実に解き、わからない箇所があればまとめておくこと。(60分)
第4回	村瀬 孝 宏	【集団と標本】、【推定と検定】、【仮説検定の考え方】、【分散の違いの検定(F検定)】 帰無仮説と対立仮説、有意水準 棄却と棄却域、自由度、統計量、分散比、不偏分散 棄却域	講義・演習	テキストpp.44-53を読了し、用紙にまとめ、講義に臨むこと。(90分)	テキストpp.44-53のポイントを整理すること。(45分) 配布したプリントを復習しておくこと。(45分) 返却された添削済みの課題を見直し、確認すること。(30分)
第5回	村瀬 孝 宏	【平均値の違いの検定(t検定)】、【リスク比とオッズ比】 等分散性、帰無仮説と対立仮説、有為水準、自由度、統計量、 不偏分散、両側検定と片側検定、t表、ウェルチの方法	講義・演習	テキストpp.59-65を読了し、用紙にまとめ、講義に臨むこと。(90分)	テキストpp.59-65のポイントを整理すること。(45分) 配布したプリントを復習しておくこと。(45分) 与えられた課題を確実に解き、わからない箇所があればまとめておくこと。(60分)
第6回	村瀬 孝 宏	【相関分析】 相関とは、正の相関、負の相関、無相関 ピアソンの積率相関係数、 相関分析の理論 相関係数の検定(t検定による方法)及び(r表による方法) 順位相関分析、スピアマンの順位相関係数	講義・演習	テキストpp.118-136を読了し、用紙にまとめ、講義に臨むこと。(90分)	テキストpp.118-136のポイントを整理すること。(45分) 配布したプリントを復習しておくこと。(45分) 返却された添削済みの課題を見直し、確認すること。(30分)
第7回	村瀬 孝 宏	【協定に基づく実データの分析①】 ここまで学修してきた内容を活用し、協定に基づく実データから課題の抽出等を行い、どのような解決策等があるのかを検討していきます。	講義・演習	協定に基づく実データの内容を確認し、どのように分析すべきか、及び分析上の注意点をまとめておくこと。 / 90分	配布したプリントを復習しておくこと。(45分) 与えられた課題を確実に解き、わからない箇所があればまとめておくこと。(60分)
第8回	村瀬 孝 宏	【協定に基づく実データの分析②】 前回の講義で抽出された課題に対して、どのような解決策等があるのかをデータ分析し検討していきます。 講義で検討した解決策をレポートにまとめていきます。	講義・演習	前回の講義で検討した解決策をレポートにまとめる準備をすること。 / 90分	配布プリントにより講義内容のポイントを整理すること。 講義で検討した解決策をレポートにまとめたものを見直す。 / 90分

オフィスアワー(授業相談)	毎週木曜日 1時間目 (9:00~10:30)
授業用E-mail	murase@chukyogakuin-u.ac.jp



## シラバス確認

シラバス入力 &gt; シラバス確認

印刷する

更新

講義名	情報処理法		
(副題)			
開講責任部署			
講義開講時期	前期	講義区分	
基準単位数	1	時間	0.00
代表曜日	水曜日	代表時限	1時限
校地			
科目No	KBE102		
科目分類・分野名	基礎教育科目・基本教育科目		
対象学科・年次	保育科・1年次		
実務家教員科目			

担当教員		
職種	氏名	所属
特任教授	◎ 村瀬 孝宏	経営学部経営学科

目的	情報機器の普及とともに、多くの仕事で情報を取り扱う機会が増え、情報活用力に優れた人材が求められています。特に最近では、人工知能（AI）やデータサイエンスの技術は、様々な分野で利活用が進んでおり、大学生の誰もが身につけるもっとも基礎的なスキルと考えられています。本科目は、データサイエンスの入門書として、Society5.0、人工知能（AI）やデータサイエンスの基礎的な知識を修得し、これから社会におけるデータ活用の必要性からデータ表現の仕方、データ分析の方法を学びます。また、学んだことを実践にて再確認し、応用力を身につけるために、実際に授業の中でこの地域の実際のデータを分析し、その結果からこの地域が抱える課題に対して解決策を提言できることを目的とします。
概要	私たちの社会とSociety5.0や人工知能関わり、データサイエンスの必要性、ビッグデータの活用方法について概説し学修していきます。その後、統合型表計算ソフトを使ったデータの作成や編集、関数による計算処理、グラフの作成、並べ替えや抽出によるデータベース処理など基本的な機能と操作方法を学修します。さらに授業の後半では、相関分析、回帰分析などの代表的なデータ分析法について知識と技能を修得する。学んだことを実践にて再確認し、応用力を身につけるために、地域との協定に基づき提供された実データを活用しながら統計学を基盤としたデータ分析を学修し、最終的にデータの活用能力及び課題解決能力の獲得を目指します。本科目は、文部科学省の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）」の申請科目です。
テキスト	よくわかる Microsoft Excel 2021 基礎（FOM出版）
参考書	Microsoft Excel 2021 応用（FOM出版）、 Microsoft Excel 2021 ドリル（FOM出版） 「人工知能とは」（人工知能学会編）近代科学社 「基礎から学ぶ 人工知能の教科書」（オーム社） 「Society(ソサエティ) 5.0 人間中心の超スマート社会」（日本経済新聞出版） 「はじめてのAIリテラシー」（技術評論社）
履修に必要な予備知識や技能	病気等、やむを得ない事情以外は必ず、積極的受講態度で出席すること。各講義で課題を与えますので、指定の提出用フォルダに提出してください。基本的に、毎週、自分で勉強しないと修得できません。自分で考え、関数による計算処理、集計及びグラフを作成したりすることで、知識をより身近なものにできます。
学生が達成すべき行動目標	
	内容

①	AI・データサイエンスに関して基礎的な理解を得る。
②	データを適切なグラフで表現することができる。
③	データベースの基礎的な理解ができ、活用することができる。
④	データの基礎的な分析方法を理解し、活用することができる。
⑤	社会における実際のデータ・課題を適切に読み解くことができる。
⑥	

達成度評価

	試験	小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	50		20	30				100
問題発見力・課題解決力	10		5	10				25
実践力	10		5	10				25
コミュニケーション力								
地域社会に貢献する力								
専門的知識・技術力A	30		10	10				50
専門的知識・技術力B								
専門的知識・技術力C								
専門的知識・技術力D								
専門的知識・技術力E								
専門的知識・技術力F								

評価の要点

	①	②	③	④	⑤	⑥	内容
試験	✓	✓	✓	✓	✓		最終試験で、本科目に必要なとされる基礎的な知識を重点に、学生が達成すべき行動目標①～⑤についてどの程度達成されたかを確認します。授業で扱った問題を十分に復習して臨んでください。フィードバックは、期末の試験結果返却時に行います。
小テスト							
レポート	✓	✓	✓	✓	✓		毎回の授業で課題を与えますので、すべて提出してもらいます。フィードバックについては、課題提出の翌週に達成状況を伝えるので、不十分な点は見直すこと。また、最後には、協定に基づく実データから課題の抽出等を行い、どのような解決策等があるのかをデータ分析し検討し、解決策をレポートにまとめていきます。
成果発表（口頭・実技）	✓	✓	✓	✓	✓		順番に自分の課題のデータ分析結果について発表をします。その場でフィードバックを行います。
作品							
ポートフォリオ							
その他							

授業計画表

回	担当教員	学習内容	授業の運営方法	事前学習：内容/時間(分)	事後学習：内容/時間(分)	教室
第1回	村瀬 孝宏	【データサイエンスの概要】 社会におけるデータ・AI活用 Society5.0と	講義・演習	データサイエンス、Society5.0、AIについて、文献などで調べておくこと。配布プリントを読み、用紙にまとめ、分からなかった点を明らかにし、講義に臨むこと。(60分)	動画「現代社会におけるデータサイエンス」を視聴しておくこと。確認問題を解いて、理解できたことを確認すること。(45分) データサイエンス、Society5.0、AIについて配布	PC教室

		いう新しい社会に向けて AI、機械学習、ビッグデータのしくみや原理について			したプリントを復習しておくこと。(45分)	
第2回	村瀬 孝 宏	【データサイエンスの必要性・活用事例】 AIの種類とその特徴、日常生活におけるAI技術について ビッグデータの定義、IoTとビッグデータ データ駆動型社会について	講義・演習	AIが社会でどのように利用されているか、身近な生活で使用されている例を中心に調べておくこと。 配布プリントを読み、用紙にまとめ、分からなかった点を明らかにし、講義に臨むこと。(60分)	動画「データサイエンスの役割」を視聴しておくこと。 AIの種類とその特徴、AIが社会でどのように利用されているかまとめておくこと。確認問題を解いて、理解できたことを確認すること。(45分) 配布したプリントを復習しておくこと。(45分)	PC教室
第3回	村瀬 孝 宏	【データ分布と特徴】(データを扱う) 表の作成 データの集計・加工 全数調査と標本抽出方法 代表値について	講義・演習	配布プリント及びテキスト pp. 1-31を読了し、用紙にまとめ、分からなかった点を明らかにし、講義に臨むこと。(60分)	動画「データの取得・管理 ①データの収集と保存」を視聴しておくこと。確認問題を解いて、理解できたことを確認すること。(30分) テキストpp. 1-31のポイントを整理しておくこと。(30分) 配布したプリントを復習しておくこと。(30分)	PC教室
第4回	村瀬 孝 宏	【基礎統計学「数式の入力」】(データを読む) 計量分布(連続的)と計数分布(離散的) 基本統計量の求め方、 データ分布(正規分布)とヒストグラム	講義・演習	配布プリント及びテキスト pp. 32-67を読了し、用紙にまとめ、分からなかった点を明らかにし、講義に臨むこと。(60分)	動画「データの取得・管理 ②データの管理」を視聴しておくこと。確認問題を解いて、理解できたことを確認すること。(30分) テキストpp. 32-67のポイントを整理しておくこと。(30分) 配布したプリントを復習しておくこと。(30分)	PC教室
第5回	村瀬 孝 宏	複数シートの連携 データの入手方法 データシートの出力方法(データ表現を説明する①)	講義・演習	配布プリント及びテキスト pp. 68-103を読了し、用紙にまとめ、分からなかった点を明らかにし、講義に臨むこと。(60分)	動画「データの入手方法」を視聴しておくこと。確認問題を解いて、理解できたことを確認すること。(30分) テキストpp. 68-103のポイントを整理しておくこと。(30分) 配布したプリントを復習しておくこと。(30分)	PC教室
第6回	村瀬 孝 宏	グラフの作成(データ表現を説明する②) スパークライン、SmartArt グラフィックなどの図表表現	講義・演習	配布プリント及びテキスト pp. 104-125を読了し、用紙にまとめ、分からなかった点を明らかにし、講義に臨むこと。(60分)	動画「ヒストグラム」を視聴しておくこと。確認問題を解いて、理解できたことを確認すること。(30分) テキストpp. 104-125のポイントを整理しておくこと。(30分) 配布したプリントを復習しておくこと。(30分)	PC教室
第7回	村瀬 孝 宏	データベース活用の基本(データハンドリング①) データの並べ替え、抽出、結合、集計およびデータ分析	講義・演習	配布プリント及びテキスト pp. 126-145を読了し、用紙にまとめ、分からなかった点を明らかにし、講義に臨むこと。(60分)	動画「データの分析」を視聴しておくこと。確認問題を解いて、理解できたことを確認すること。(30分) テキストpp. 126-145のポイントを整理しておくこと。(30分) 配布したプリントを復習しておくこと。(30分)	PC教室
第8回	村瀬 孝 宏	ピボットテーブルとピボツ	講義・演習	配布プリント及びテキスト pp. 146-163を読了し、用紙に	確認問題を解いて、理解できたことを確認すること。(30	PC教室

		トグラフの作成(データハンドリング②)データの可視化、データ分析		まとめ、分からなかった点を明らかにし、講義に臨むこと。(60分)	分) テキストpp.146-163のポイントを整理しておくこと。(30分) 配布したプリントを復習しておくこと。(30分)	
第9回	村瀬 孝 宏	クロス集計 クロス集計の方法とクロス集計表の操作 Googleレンズの仕組み、使い方	講義・演習	配布プリント及びテキストpp.164-195を読了し、用紙にまとめ、分からなかった点を明らかにし、講義に臨むこと。(60分) 動画「Googleレンズの使い方」を視聴しておくこと。	確認問題を解いて、理解できたことを確認すること。(30分) テキストpp.164-195のポイントを整理しておくこと。(30分) 配布したプリントを復習しておくこと。(30分)	PC教室
第10回	村瀬 孝 宏	相関分析 散布図と相関関係、相関係数 相関係数の検定、順位相関分析	講義・演習	配布プリント及びテキストpp.196-227を読了し、用紙にまとめ、分からなかった点を明らかにし、講義に臨むこと。(60分)	確認問題を解いて、理解できたことを確認すること。(45分) 配布したプリントを復習しておくこと。(45分)	PC教室
第11回	村瀬 孝 宏	【情報セキュリティ】 ユーザ認証とアクセス管理、マルウェアとサイバー攻撃、ネットワークセキュリティ、暗号化技術などについて 【回帰分析】 説明変数と目的変数、回帰直線、回帰式、決定係数	講義・演習	配布プリントを読み、用紙にまとめ、分からなかった点を明らかにし、講義に臨むこと。(60分)	確認問題を解いて、理解できたことを確認すること。(45分) 配布したプリントを復習しておくこと。(45分)	PC教室
第12回	村瀬 孝 宏	【情報倫理】 ネット社会のモラルとマナー 情報の選択と信ぴょう性、ネットへの依存について 協定に基づく実データの分析① 学修してきた内容を活用し、協定に基づく実データから課題の抽出等を行います。	演習(グループワーク)グループワークによるディスカッションにより検討を行う(アクティブラーニング)	実データを扱う際の注意点などを文献を使って調べ、ノートなどにまとめる。(60分)	次回の授業時に課題の抽出が明確化できるように分析を終わらせる。(120分)	PC教室
第13回	村瀬 孝 宏	協定に基づく実データの分析② 前回の講義で抽出された課題に対して、どのような対応策等があるのかをデータ分析し検討し、議論します。	演習(グループワーク)グループワークによるディスカッションにより検討を行う(アクティブラーニング)	前回は引き続き分析結果をまとめながら、対応策が含まれているレポートの完成を目指す。(60分)	授業資料を参考に分析結果を見直し、レポートの見直しを行う。(90分)	PC教室
第14回	村瀬 孝 宏	協定に基づく実データの分析③ 前回の講義で検討した対応策等をレポー	演習	前回の講義で検討した解決策をレポートにまとめる準備をすること。(60分)	講義で検討した解決策をレポートにまとめたものを見直す。(90分)	PC教室

		トにまとめて いきます。				
第15回	村瀬 孝 宏	まとめ	講義・演習	これまでの範囲を復習し、分 からなかった点を明らかに し、講義に臨むこと。(60分)	15回分の授業内容を復習して おくこと。(90分)	PC教室
オフィスアワー(授業相談)		毎週木曜日1時間目 (9:00~10:30)				
授業用E-mail		<a href="mailto:murase@chukyogakuin-u.ac.jp">murase@chukyogakuin-u.ac.jp</a>				

[ページの先頭へ](#)

[閉じる](#)

## シラバス確認

シラバス入力 &gt; シラバス確認

印刷する

更新

講義名	情報分析法		
(副題)			
開講責任部署			
講義開講時期	後期	講義区分	
基準単位数	1	時間	0.00
代表曜日		代表時限	
校地			
科目No	KBE102		
科目分類・分野名	基礎教育科目・基本教育科目		
対象学科・年次	保育科・1年次		
実務家教員科目			

担当教員		
職種	氏名	所属
特任教授	◎ 村瀬 孝宏	経営学部経営学科

目的	<p>社会人として必要となる基本的な情報処理能力を身に付けることを目的として、主にWordを用いた講義を行います。私たちのまわりでは、IT（情報技術）化が加速しています。電話に加え、電子メールやチャット、Web閲覧・検索、SNS・ツイッター、ECサイトなど利用範囲も拡がり、社会インフラとして定着してきました。教育の分野でも、大学をはじめ、小・中・高等学校での「教育の情報化」が進んでおり、小学校ではプログラミング必修の時代になりました。保育・幼児教育の分野でも、仕事の効率化と保育の質向上が求められています。</p> <p>本科目は、保育者を目指す学生のための文章作成ソフトWordの理解と利用技術の修得が目的です。ITを駆使して、業務の効率化や大幅な品資の向上を実現するため、保育者になったあとの仕事で求められるスキル項目をほぼ盛り込んで、やさしいものから始めて徐々にスキルアップし、保育者としての仕事の質の向上が実現されることをねらいとしました。</p>
概要	<p>Wordについて初心者を対象に、文字の入力、文書の作成や編集、印刷、表の作成、図形の作成など基本的な機能と操作方法を学修します。さらに授業の後半は、図形や写真を使ったデザイン性のあるチラシやポスターを作成する方法や差し込み印刷、スタイルを利用して見栄えのする長文に仕上げる方法、コメントや変更履歴などを使って文書を校閲する方法など、Wordの多彩な機能を修得して、社会人としての様々な場面でチャンスを広げることを可能とする。また、保育者としての観点から、園だより、行事の案内、保育指導案、さらにはScratchを使ったプログラム作成など幼稚園教諭、保育者として必要とされる情報処理能力を身につける。授業においては練習用の問題を課題として与え、学習効果をより高める。</p> <p>本科目は、文部科学省の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）」の申請科目です。</p>
テキスト	よくわかる Microsoft Word 2021 ドリル（FOM出版）
参考書	Microsoft Word 2021 基礎（FOM出版）、 Microsoft Word 2021 応用（FOM出版）
履修に必要な予備知識や技能	<p>病気等、やむを得ない事情以外は必ず、積極的受講態度で出席すること。</p> <p>各講義で課題を与えますので、指定の提出用フォルダーに提出してください。</p> <p>基本的に、毎週、自分で勉強しないと修得できません。自分で考え、文章のデザイン及び作成、またはデータ集計分析、プログラム作成等したりすることで、知識・技術をより身近なものにできます。</p>
学生が達成すべき行動目標	
	内容
①	文章の作成や編集、印刷に関して基本的な操作を理解している。

②	図形や図表、写真などに効果をつけた文章の作成ができる。
③	園だより・保育指導など幼稚園教諭、保育者として必要とされる情報技術を身につける。
④	
⑤	
⑥	

達成度評価

	試験	小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70		30					100
問題発見力・課題解決力	10		5					15
実践力	10		5					15
コミュニケーション力								
地域社会に貢献する力								
専門的知識・技術力A	50		20					70
専門的知識・技術力B								
専門的知識・技術力C								
専門的知識・技術力D								
専門的知識・技術力E								
専門的知識・技術力F								

評価の要点

	①	②	③	④	⑤	⑥	内容
試験	✓	✓	✓				最終試験で、本科目に必要とされる基礎的な知識を重点に、学生が達成すべき行動目標①～③についてどの程度達成されたかを確認します。授業で扱った問題を十分に復習して臨んでください。フィードバックは、期末の試験結果返却時に行います。
小テスト							
レポート	✓	✓	✓				毎回の授業で課題を与えますので、すべて提出してもらいます。フィードバックについては、課題提出の翌週に達成状況を伝えるので、不十分な点は見直すこと。
成果発表（口頭・実技）							
作品							
ポートフォリオ							
その他							

授業計画表

回	担当教員	学習内容	授業の運営方法	事前学習：内容/時間(分)	事後学習：内容/時間(分)	教室
第1回	村瀬 孝宏	【データ・AIを扱う上での留意事項】 ・個人情報と知的財産 1. 個人情報のコントロール、 2. 個人情報の流出、3. 個人情報の保護 ・データ倫理：	講義・演習・ディスカッション（アクティブラーニング）	データの取り扱いに関する著作権等について文献を使って調べ、ノートにまとめる。(60分)	授業資料を使って、データの取り扱いに関する著作権等を復習し、ノートを整理する。(90分)	PC教室

		データの捏造、改ざん、盗用 ・AI社会原則				
第2回	村瀬 孝 宏	【データを守る上での留意事項】 ・情報セキュリティ 1. ユーザ認証とアクセス管理、2. マルウェアとサイバー攻撃、3. ネットワークセキュリティ、4. 暗号化技術などについて	講義・演習・ディスカッション（アクティブラーニング）	データを守る上での情報セキュリティについて文献を使って調べ、ノートにまとめる。(60分)	個人のデータを守るために留意すべき事項を整理しておくこと。(60分) 配布したプリントを復習しておくこと。(30分)	PC教室
第3回	村瀬 孝 宏	基礎第2章 文字の入力 基礎第3章 文章の作成	演習	テキスト基礎第2章、3章を読了し、用紙にまとめ、分からなかった点を明らかにし、講義に臨むこと。(60分)	確認問題を解いて、理解できたことを確認すること。(30分) テキスト基礎第2章、第3章を整理すること。(30分) 配布したプリントを復習しておくこと。(30分)	PC教室
第4回	村瀬 孝 宏	基礎第4章 表の作成	演習	テキスト基礎第4章を読了し、用紙にまとめ、分からなかった点を明らかにし、講義に臨むこと。(60分)	確認問題を解いて、理解できたことを確認すること。(30分) テキスト基礎第4章を整理すること。(30分) 配布したプリントを復習しておくこと。(30分)	PC教室
第5回	村瀬 孝 宏	基礎第5章 文章の編集	演習	テキスト基礎第5章を読了し、用紙にまとめ、分からなかった点を明らかにし、講義に臨むこと。(60分)	確認問題を解いて、理解できたことを確認すること。(30分) テキスト基礎第5章を整理すること。(30分) 配布したプリントを復習しておくこと。(30分)	PC教室
第6回	村瀬 孝 宏	基礎第6章 表現力をアップする機能 基礎第7章 便利な機能	演習	テキスト基礎第6章、7章を読了し、用紙にまとめ、分からなかった点を明らかにし、講義に臨むこと。(60分)	確認問題を解いて、理解できたことを確認すること。(30分) テキスト基礎第6章、7章を整理すること。(30分) 配布したプリントを復習しておくこと。(30分)	PC教室
第7回	村瀬 孝 宏	園だよりの作成、行事だよりの作成	演習	事前プリントを読了し、自身が考え構想している園だよりを用紙にまとめ、講義に臨むこと。(60分)	作成した園だよりについて、他者から意見を聞き、改善点をまとめて反映させること。(60分) 配布したプリントを復習しておくこと。(30分)	PC教室
第8回	村瀬 孝 宏	保育指導案の作成	演習	事前プリントを読了し、自身が考え構想している保育指導案を用紙にまとめ、講義に臨むこと。(60分)	作成した保育指導案について他者から意見を聞き、改善点をまとめて反映させること。(60分) 配布したプリントを復習しておくこと。(30分)	PC教室
第9回	村瀬 孝 宏	Scratchを使ったプログラム作成(1) 基礎編	演習	事前配布プリントを読み、自身が考え構想しているプログラムを用紙にまとめ、講義に臨むこと。(60分)	課題を解いて、理解できたことを確認すること。(60分) 配布したプリントを復習しておくこと。(30分)	PC教室
第10回	村瀬 孝 宏	Scratchを使ったプログラム作成(2) 応用編	演習	事前配布プリントを読み、自身が考え構想しているプログラムを用紙にまとめ、講義に臨むこと。(60分)	課題を解いて、理解できたことを確認すること。(60分) 配布したプリントを復習しておくこと。(30分)	PC教室
第11回	村瀬 孝 宏	応用第1章 図形や図表を使った文章の作成 応用第2章 写	演習	テキスト応用第1章、2章を読了し、用紙にまとめ、分からなかった点を明らかにし、講義に臨むこと。(60分)	確認問題を解いて、理解できたことを確認すること。(30分) テキスト応用第1章、2章を整理すること。(30分)	PC教室

		真を使った文章の作成			配布したプリントを復習しておくこと。(30分)	
第12回	村瀬 孝 宏	応用第3章 差し込み印刷	演習	テキスト応用第3章を読了し、用紙にまとめ、分からなかった点を明らかにし、講義に臨むこと。(60分)	確認問題を解いて、理解できたことを確認すること。(30分) テキスト応用第3章を整理すること。(30分) 配布したプリントを復習しておくこと。(30分)	PC教室
第13回	村瀬 孝 宏	応用第4章 長文の作成 応用第5章 文章の校閲	演習	テキスト応用第4章、5章を読了し、用紙にまとめ、分からなかった点を明らかにし、講義に臨むこと。(60分)	確認問題を解いて、理解できたことを確認すること。(30分) テキスト応用第4章、5章を整理すること。(30分) 配布したプリントを復習しておくこと。(30分)	PC教室
第14回	村瀬 孝 宏	応用第6章 Excelデータを利用した文章の作成 応用第7章 便利な機能	演習	テキスト応用第6章、7章を読了し、用紙にまとめ、分からなかった点を明らかにし、講義に臨むこと。(60分)	確認問題を解いて、理解できたことを確認すること。(30分) テキスト応用第6章、7章を整理すること。(30分) 配布したプリントを復習しておくこと。(30分)	PC教室
第15回	村瀬 孝 宏	まとめ	演習	テキストまとめを読了し、用紙にまとめ、分からなかった点を明らかにし、講義に臨むこと。(60分)	まとめの問題を解いて、理解できたことを確認すること。(30分) テキストまとめを整理すること。(30分) 配布したプリントを復習しておくこと。(30分)	PC教室
オフィスアワー(授業相談)		毎週水曜日3時間目 (13:00~14:30)				
授業用E-mail		<a href="mailto:murase@chukyogakuin-u.ac.jp">murase@chukyogakuin-u.ac.jp</a>				